

行事報告書(恋今*組)

報告者:高橋美千代

行 事 名	春の六甲高山植物園へ
実 施 日 時	2022年4月11日(月) 9時30分~13時 天候:晴れ
行 先	六甲高山植物園
テ ー マ	春の息吹を感じながら かわいい草花を愛でる
参 加 者	大橋・小山・坂本・鹿本・詠田・沼田・藤裏・藤原(泰)・三仲・森本(和)・山本・高橋美(12名)

経過・状況



恋今*組 2022 年度は、六甲高山植物園からスタートしました。自宅や、阪急六甲から徒歩で集合するつわ者もいて汗びっしょり。ケーブル組はちょっと冷えるねえと言いながら、太陽を求めて雑談。ルートは去年11月のヴォーリズ六甲山荘見学と同じ。アオキの実は緑色から真っ赤になり、誰にも食べられずに残っていて綺麗。三つ葉葵のモデルと言われている、フタバアオイがフェンス越しに、お花は葉っぱの下に隠れているのかしら。イヌブナの冬芽のスレンダーな形に見とれながら、1時間30分の観察を終える。植物園ではガイドさんによる説明が30分あり、勉強になった。特に、タムシバの木の下に落ちていた芽鱗を、ポキンと折って匂いをかぐと、ハッカのようだ、へえ～。ガイドさんにお礼を言ったとたん、お腹がすいたので11時に昼食を。そのあとは、園内を一周して観察を終了。中でも圧巻だったのはアカヤシオ。西入り口付近では低木が迎えてくれたが、奥に立つあの花の爛漫さには「うわあ～参った！」という感じ。さっそく集合写真に収める。花のあでやかさ、つぼみの色のきれいさ、標高の高い山に自生しているとのことなので、いつか会いたいものだ。そしてお馴染みの「春の妖精」カタクリ。発芽から開花まで7年もかかり、頑張っている姿に感心感動。でも寿命50年と知って少しうれしくなった。帰りは油コブシ下山組、ケーブル組に分かれ最後は反省会へ……今度はアカヤシオの紅葉を見てみたい。

★恋今*組 5月 は“新緑の妙見の森でバーベキュー”です。ケーブル利用で楽ちん、楽しい1日を！
案内はすでに出しています。5月2日締め切りです。



フタバアオイ



タムシバの芽鱗



オオミスミンソウ



カタクリ



ヤマガラ